


|        |                            |           |            |   |
|--------|----------------------------|-----------|------------|---|
| 【件名】   | 古川整備工事（その23）               | 【事務所名】    | 第一建設事務所    |  |
| 【工事場所】 | 東京都港区南麻布二丁目地内から同区白金一丁目地内まで | 【受注者名】    | 三幸建設工業株式会社 |   |
| 【工期】   | 令和3年2月22日から令和5年7月31日まで     | 【主たる技術者名】 | 監理技術者 岸 秀一 |   |

### 【工事概要】 護岸改修工事

河心延長 左岸：L=68.7m 右岸：L=69.0m  
 鋼管杭圧入工(φ1000 t=10mm) L=15.5m n=54本  
 護岸工 左岸：L=64.4m 右岸：L=68.6m  
 土工 一式 撤去工 一式  
 雑工 一式 仮設工 一式

### 【表彰理由】（※発注者側評価）

本現場は、上空を首都高速が近接し、護岸の直近まで家屋等が立地するなど制約が多く、潮位の影響も受ける施工条件の厳しい現場であった。

受注者は、関係機関との調整を迅速に進めて円滑な工事の遂行に努めるとともに、作業の効率化に資する取組を積極的に行い、工期の遅延を生じさせることなく無事故で工事を完了させた。



施工前（下流側）



施工後（下流側）

### 【受注者の声】

#### ◇ 苦労した点

首都高速の足場まで最大GL+5.9mしかない空間を使って、杭長15.5m(4箇所継から10箇所継)×54本を施工した点。

#### ◇ 特に工夫した点

工程と潮位の関連をいち早く把握して施工手順を決め、資機材の運搬をキャリアダンブにするか、手引きのボートを使うのか検討した点など。

#### ◇ 現場で得られたやりがいや達成感

上流工区の既設護岸取壊し作業において、縁切り取壊のために実施したコア削孔の施工時期を、仮締切設置前に実施した結果、騒音の大きい作業を当初見込んでいた工期内に終了させる事ができたこと。

#### ◇ 建設業の将来を担う若手技術者や学生に対し伝えたいこと

知識を得ることは、とても重要だと思います。また、その知識を活かして、人に正確に伝えるためにはどうすればいいのかを考えることが社会人には必要です。



施工ヤード内クレーン作業状況（首都高足場近接）